



2025 年 10 月 12 日

HAZAMA ANDO Triple Tree Racing

Juju（こと、野田樹潤）10 月 11 日（土） 富士スピードウェイ スーパーフォーミュラ Rd.9 に出場

Juju、富士スピードウェイのスーパーフォーミュラでは、初めて雨の予選。

わずか 10 分の走行で果敢にアタック。

タイムアップを繰り返すも、全力を出し切れず。

決勝はセーフティカーが先導、雨のため 12 周目に終了。不完全燃焼のまま終わる。

Juju（こと、野田樹潤。HAZAMA ANDO Triple Tree Racing）は、2025 SUPER FORMULA（以下、SF）Rd.9 に出場。11 日午前の予選は、Juju にとって、富士スピードウェイの SF では初めての雨。しかも 10 分という短時間。厳しい環境下で貴重な経験を積むこととなりました。決勝レースは、依然として降り続く雨の中、セーフティカー先導のまま 12 周するもそのまま終了。Juju は、20 位でフィニッシュ。Juju にとっては、Rd.5 AUTOPOLIS、Rd.8 SUGO 同様に、悔しさが残る不完全燃焼のレースとなりました。



Triple Tree Racing





今回の富士スピードウェイでのレースは、前回、富士で行なわれた Rd.6-7 同様に 1 大会 2 レース。日本列島の太平洋側を東に向かって進む台風 23 号の影響が懸念されるレースウィークとなりました。10 月 10 日（金）は、2 回のフリー走行。1 回目のフリー走行は、エンジントラブルで走行時間を失います。2 回目のフリー走行は、チームの懸命の修復作業により途中からの参加となりました。そんな中で、7 月 17 日にここ富士スピードウェイで行われた Rd.6 の Q1（1 回目の予選）突破を目前とする 1 分 23 秒台に肉薄する好タイムをいきなり記録し、Q1 突破の期待も。

明けて 11 日（土）の予選は、朝から雨。SF の富士スピードウェイでは初めてのウェット路面を経験します。先行する車両が巻き上げる前が見えないほどの水煙の中で、わずかに 10 分という短時間。しかも、いつ赤旗がでて予選が中止されるかもしれないという過酷な状況下でのタイムアタックとなりました。SF では経験の浅いウェット路面でタイムを出さなければならないという厳しい条件で貴重な経験を積むこととなりました。

開始直後のセクター1（1 周の中で最初のタイム計測区間）で、Juju は、予選 B 組のトップタイムにも匹敵する果敢なアタックを見せます。しかし、セクター3 では、マシンのセッティングが合わずに大きくタイムロス。結果は、参加 22 台中 21 番目からの決勝スタートとなりました。

午後の決勝も雨が続きます。ひとつでもポジションを上げようと、巻き返しを胸にスターティンググリッドに。しかし、スタート直後から、降り続く雨と先行車両が巻き上げる水煙が視界を阻むという状況に。主催者は、セーフティカーを導入し、隊列を組む形で安全なスピードを維持しながらレースを先導。その後、安全にレースを行うことができないとの判断から、12 周目にレース中止を示す 2 度目の赤旗が出され、そのまま終了。緊急ピットインした 1 台が順位を下げたことから、Juju は 20 位でのフィニッシュとなりました。

翌 12 日（日）の Rd.10 は、天候も回復すると見込まれ、ドライコンディションでの良い予選・決勝が期待されます。

◆ドライバー・Juju コメント

スーパーフォーミュラでの雨の予選は、ドライバーとチーム双方にとって初めての経験であり、新たな挑戦でした。チームには、スーパーフォーミュラでの雨の予選に関する十分なデータがありませんでした。セッティングの方向性に悩みましたし、チームメイトがいないこともデータ収集を難しくしました。ドライビングも車のセッティングも完全にはまらず、悔しい結果でしたが、これもひとつの経験だと捉えています。私が走った予選 B 組の時の方が雨量は多かったかもしれませんが、それよりも、タイムを出すためにどうすべきかという点で、自分自身が最適な回答を見つけられませんでした。1 コーナーの突っ込みは良くセクター 1 は速かったのですが、セッティングが重要になる富士のセクター3 があっていなかったことが、チームの反省点です。ただ、結果はだせませんでした。攻めきれずに終わるより、攻めすぎて失敗した方が良かった。

Triple Tree Racing





たと前向きに捉えています。「行き過ぎてまとめられなかった」という感覚なので、次につながるという感触は、十分にあります。

◆監督・野田英樹 コメント

10日（金）のFP1では、エンジントラブルで走行時間を失い、FP2も途中からの参加となりました。チームの尽力で最悪の事態は免れましたが、テストメニューをこなすことができませんでした。11日の予選は、Jujuにとって、SUPERFORMULA初の雨の予選となりました。Jujuは、10分間という短い時間の中のタイムアタックということを考慮すれば納得せざるを得ない結果だったと思います。決勝は、セーフティカー先導のまま1周もレースができずに終了してしまいました。AUTOPOLIS、SUGOに続き不完全燃焼で終わるという悔しい結果でした。明日12日（日）のRd.10は、天候の回復が見込まれます。ドライコンディションでの予選・決勝ができるものと望んでいます。

以上

Triple Tree Racing

